第 58 回日本臨床細胞学会秋期大会
学術集会プログラム

会長講演

11 月 17 日（日）　13：50〜14：20　第 1 会場（4F ホテルグランヴィア岡山 フェニックス）

座長：佐藤之俊（日本臨床細胞学会理事長/北里大学医学部呼吸器外科学）

細胞診の可能性を問う：新たなるパラダイムへ

川崎医科大学病理学　森谷卓也

特別講演

特別講演 1　11 月 16 日（土）　13：10〜14：10　第 1 会場（4F ホテルグランヴィア岡山 フェニックス）

座長：柳井広之（岡山大学病院病理診断科）

細胞が織り成す不思議な形態―『なぜ・どうして』を形態学的に理解するために―

神戸常盤大学保健科学部医療検査学科　畠　榮

特別講演 2　11 月 16 日（土）　16：00〜17：00　第 1 会場（4F ホテルグランヴィア岡山 フェニックス）

座長：三宅康之（倉敷芸術科学大学生命科学部生命医科学科）

穿刺吸引細胞診―如何に論理的に観察するか，如何に合理的に報告するか

医療法人神甲会隈病院病理診断科　廣川満良

特別講演 3　11 月 17 日（日）　8：30〜9：30　第 1 会場（4F ホテルグランヴィア岡山 フェニックス）

座長：松川昭博（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病理学）

パターン認識から見た病理組織診断

京都大学名誉教授　真鍋俊明

特別講演 4　11 月 17 日（日）　13：20〜13：50　第 1 会場（4F ホテルグランヴィア岡山 フェニックス）

座長：森谷卓也（川崎医科大学病理学）

備前焼の歴史と現在

陶芸家　藤原　和

招請講演

招請講演 1　11 月 16 日（土）　10：00〜11：00　第 1 会場（4F ホテルグランヴィア岡山 フェニックス）

座長：土屋眞一（社会医療法人飯田病院副院長/日本医科大学付属病院乳腺科特任教授）

AI と細胞〜細胞画像に秘められた可能性の探求

理化学研究所革新知能統合研究センター病理情報学チーム　山本陽一朗

招請講演 2　11 月 16 日（土）　16：30〜17：00　第 3 会場（3F ホテルグランヴィア岡山 パール）

座長：松原　修（平塚共済病院病理診断科/がん研究会がん研究所）

What motivates senior clinicians to teach medical students?

Anatomical Pathologist and Executive Director of ACT Pathology, Canberra Health Services；Chair and Professor of Pathology, College of Health and Medicine, Australian National University

Jane Dahlstrom

招請講演 3　11 月 17 日（日）　9：30〜10：10　第 1 会場（4F ホテルグランヴィア岡山 フェニックス）

座長：青木大輔（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

International Academy of Cytology（IAC）理事長の 3 年間を振り返って　新キャビネットへの期待

日本鋼管病院病理診断科[1)], 慶應義塾大学医学部[2)]　長村義之[1,2)]

国際フォーラム（Global Asia Forum）

11 月 16 日（土）　10：00～12：00　第 8 会場（2F 岡山県医師会館 三木記念ホール）

座長：Andrey Bychkov（Department of Pathology, Kameda Medical Center）
Kennichi Kakudo（Kindai University, Nara Hospital）

Thyroid FNA Cytology in Asian Countries

GAF-1　Nuclear features of *BRAF* mutated papillary thyroid carcinomas and *RAS* mutated neoplasms

Department of Hospital Pathology, College of Medicine, The Catholic University of Korea, Seoul, Korea[1], Department of Pathology, Faculty of Medicine, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand[2], Department of Pathology, Kameda Medical Center, Kamogawa, Japan[3], Department of Pathology, Asan Medical Center, Seoul, Korea[4], Department of Pathology, Ajou University School of Medicine, Suwon, Korea[5], Department of Pathology, Jiangsu Institute of Nuclear Medicine, Wuxi, China[6], Department of Occupational and Environmental Health Monitoring and Assessment, Shandong Center for Disease Control and Prevention, Jinan, China[7], Department of Pathology, All India Institute of Medical Sciences, New Delhi, India[8], Department of Pathology, Taipei Veterans General Hospital, Taipei, Taiwan[9], Department of Diagnostic Pathology and Cytology, Kuma Hospital, Kobe, Japan[10], Division of Diagnostic Pathology, Keio University Hospital, Tokyo, Japan[11], Faculty of Medicine, Department of Pathology, Nara Hospital, Kindai University, Nara, Japan[12]

○Chan Kwon Jung[1], Andrey Bychkov[2,3], Dong Eun Song[4], Jang-Hee Kim[5], Yun Zhu[6], Zhiyan Liu[7], Deepali Jain[8], Somboon Keelawat[2], Chiung-Ru Lai[9], Mitsuyoshi Hirokawa[10], Kaori Kameyama[11], Kennichi Kakudo[12]

GAF-2　AUS/FLUS in Indian experience with thyroid FNA

Department of Pathology, AIIMS, New Delhi, India

○Shipra Agarwal, Prerna Guleria, Deepali Jain, Sandeep R Mathur, Venkateswaran K Iyer

GAF-3　BRAF testing to refine cytology categories：why, how and when?

Consultant Pathologist and Clinical Professor[1], Department of Anatomical Pathology, PathWest Laboratory Medicine[2], Discipline of Pathology and Laboratory Medicine, University of Western[3]

○Priyanthi Kumarasinghe[1,2,3]

GAF-4　The differences in general thyroid cytopathology practice between Western and Asian countries

Department of Pathology, Oncology Hospital, Ho Chi Minh City, Vietnam[1], Department of Pathology, University of Yamanashi, Chuo, Yamanashi, Japan[2], Department of Pathology, University of Medicine and Pharmacy, Ho Chi Minh City, Vietnam[3], Faculty of Medicine, University of Medicine and Pharmacy, Ho Chi Minh City, Vietnam[4], Department of Pathology, Kameda Medical Center, Kamogawa City, Chiba, Japan[5], Department of Hospital Pathology, College of Medicine, The Catholic University of Korea, Seoul, Republic of Korea[6], Department of Pathology and Laboratory Medicine, Nara Hospital, Kindai University Faculty of Medicine, Ikoma-city, Nara, Japan[7]

○Trang Huyen Vu[1], Huy Gia Vuong[2], Hanh T. T. Ngo[3], Thao T. K. Tran[4], Kim Bach Lu[1], Andrey Bychkov[5], Chan Kwon Jung[6], Tadao Nakazawa[2], Ryohei Katoh[2], Kennichi Kakudo[7], Tetsuo Kondo[2]

GAF-5 Cytological diagnosis of medullary thyroid carcinoma among Asian Working Group in Thyroid Cytology

Division of Pathology, Sijhih Cathay General Hospital, New Taipei City, Taiwan
○Chih-yi Liu

GAF-6 Interobserver Variability in the Histopathologic Assessment of Capsular Invasion of Thyroid Follicular Neoplasms in Asian Practice

Department of Pathology, Shandong Provincial Hospital Affiliated to Shandong University, Shandong, China[1], Department of Pathology, Jiangyuan Hospital Affiliated to Jiangsu Institute of Nuclear Medicine (Key Laboratory of Nuclear Medicine), Wuxi, Jiangsu, China[2], Department of Pathology, Kameda Medical Center, Kamogawa, Japan[3], Faculty of Medicine, Department of Pathology, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand[4], Department of Hospital Pathology, College of Medicine, The Catholic University of Korea, Seoul, South Korea[5], Department of Pathology, Qilu Hospital of Shandong University, Shandong, China[6], Department of Pathology, All India Institute of Medical Sciences, New Delhi, India[7], Department of Pathology and Laboratory Medicine, Taipei Veterans General Hospital, Taiwan, Taipei Veterans General Hospital[8], Department of Pathology, Asan Medical Center, University of Ulsan College of Medicine, Seoul, South Korea[9], Department of Diagnostic Pathology and Cytology, Kuma Hospital, Kobe, Japan[10], Faculty of Medicine, Department of Pathology, Nara Hospital, Kindai University, Nara, Japan[11]
○Yaqiong Li[1], Yun Zhu[2], Andrey Bychkov[3,4], Chan Kwon Jung[5], Zhiyan Liu[6], Deepali Jain[7], Chiung-Ru Lai[8], Jen-Fan Hang[8], Dong Eun Song[9], Mitsuyoshi Hirokawa[10], Kennichi Kakudo[11]

医療安全セミナー

11月17日（日） 10：40～11：40 第1会場（4F ホテルグランヴィア岡山 フェニックス）

座長：藤井多久磨（藤田医科大学産婦人科）

病院管理者の視点からみた医療安全の課題

医療法人財団東京勤労者医療会東葛病院病理診断科 下 正宗

医療倫理セミナー

11 月 17 日（日）　14：40〜15：40　第 1 会場（4F ホテルグランヴィア岡山 フェニックス）

座長：竹島信宏（がん研究会有明病院）

人を対象とする医学系研究に関する倫理について

川崎医科大学泌尿器科　永井　敦

感染対策セミナー

11 月 16 日（土）　14：35〜15：35　第 1 会場（4F ホテルグランヴィア岡山 フェニックス）

座長：伊藤　潔（東北大学災害科学国際研究所災害産婦人科学分野）

最近注目されている感染症の動向と臨床検体のとり扱いの留意点

岡山県健康づくり財団健康づくり総合センター　岸本寿男

細胞診専門医セミナー

11 月 17 日（日）　16：00〜17：00　第 1 会場（4F ホテルグランヴィア岡山 フェニックス）

座長：植田政嗣（畿央大学大学院健康科学研究科）

臓器横断的癌取扱い規約について

国立がん研究センター先端医療開発センター　落合淳志

要望講演

要望講演 1　11 月 16 日（土）　13：10〜14：10　第 2 会場（3F ホテルグランヴィア岡山 クリスタル）

座長：塩田　充（川崎医科大学婦人科腫瘍学教室）

子宮がん検診ガイドラインの概要―これからの細胞診の果たす役割

国立がん研究センター社会と健康研究センター検診研究部　中山富雄

要望講演 2　11 月 16 日（土）　13：10〜14：10　第 3 会場（3F ホテルグランヴィア岡山 パール）

座長：小田義直（九州大学大学院医学研究院形態機能病理学）

脳腫瘍取扱い規約―第 4 版からみた脳腫瘍の組織診断と細胞診

群馬大学大学院医学系研究科病態病理学分野　横尾英明

要望講演 3　11 月 16 日（土）　10：30〜11：30　第 6 会場（2F 岡山コンベンションセンター レセプションホール）

座長：三上芳喜（熊本大学医学部附属病院病理部）

米国における病理専門医育成と細胞病理医および細胞検査士の現状と展望

マサチューセッツ総合病院病理部　三野眞里

要望講演 4　11 月 16 日（土）　13：10〜14：10　第 8 会場（2F 岡山県医師会館 三木記念ホール）

座長：橋本優子（福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座）

WHO 分類第 4 版改訂版に基づくリンパ腫の細胞診断

東海大学医学部基盤診療学系病理診断学　中村直哉

要望講演 5　11 月 16 日（土）　14：10〜15：10　第 8 会場（2F 岡山県医師会館 三木記念ホール）

座長：川本雅司（帝京大学医学部附属溝口病院病理診断科）

中皮腫アップデート　早期診断を目指して

兵庫医科大学病理学分子病理部門　○辻村　亨，結城美智子，篠原義康，隅田安由美，佐藤鮎子

要望講演 6　11 月 16 日（土）　15：10〜16：10　第 8 会場（2F 岡山県医師会館 三木記念ホール）

座長：森井英一（大阪大学大学院医学系研究科・医学部病態病理学）

BRAF 遺伝子異常に関連する疾患と細胞形態

高知大学医学部病理学講座　村上一郎

要望講演 7　11 月 16 日（土）　16：10〜17：10　第 8 会場（2F 岡山県医師会館 三木記念ホール）

座長：石川雄一（国際医療福祉大学医学部病理学/がん研究会がん研究所病理部）

High-yield Cytology

奈良県立医科大学病理診断学講座　大林千穂

要望講演 8　11 月 16 日（土）　13：10〜14：10　第 9 会場（4F 岡山県医師会館 401 会議室）

座長：笹野公伸（東北大学大学院医学系研究科医科学専攻病理病態学講座病理診断学分野）

Medical Education in the United States

Pathology and Laboratory Medicine Larner College of Medicine, University of Vermont　木田正俊

Pathology and Laboratory Medicine Larner College of Medicine, University of Vermont　Rebecca Wilcox

Pathology and Laboratory Medicine Larner College of Medicine, University of Vermont　Scott Anderson

要望講演 9　11 月 16 日（土）　14：10〜15：10　第 9 会場（4F 岡山県医師会館 401 会議室）

伊藤智雄（神戸大学医学部付属病院病理部・病理診断科）

デジタルパソロジーと細胞診：遠隔病理診断の現状と細胞診領域への展望

東北大学病院病理部　渡辺みか

要望講演 10　11 月 16 日（土）　15：10〜16：10　第 9 会場（4F 岡山県医師会館 401 会議室）

座長：増田しのぶ（日本大学医学部病態病理学系腫瘍病理学分野）

医療情報・医療画像に関する最新事情

Memorial Sloan Kettering Cancer Center　**八木由香子**

要望講演 11　11 月 16 日（土）　16：10〜17：10　第 9 会場（4F 岡山県医師会館 401 会議室）

座長：藤田　勝（倉敷成人病センター）

メディカルイラストレーションと細胞診

川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科　横田ヒロミツ

要望講演 12　11 月 17 日（日）　13：20〜14：20　第 2 会場（3F ホテルグランヴィア岡山 クリスタル）

座長：榎本隆之（新潟大学医学部産科婦人科学教室）

テーラーメイド医療時代の細胞診技術

慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニット[1)], 国際医療福祉大学三田病院[2)]

○柳田絵美衣[1)], 山田　寛[1)], 松岡亮介[2)]

要望講演 13　11 月 17 日（日）　13：20〜14：20　第 3 会場（3F ホテルグランヴィア岡山 パール）

座長：伊藤浩史（山口大学大学院医学系研究科分子病理学分野）

遺伝性腫瘍

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座（臨床遺伝子医療学分野）　平沢　晃

要望講演 14　11 月 17 日（日）　10：40〜11：40　第 4 会場（3F 岡山コンベンションセンター コンベンションホール）

座長：石井保吉（こころとからだの元氣プラザ臨床検査部細胞病理診断科）

子宮頸がん撲滅に向けての新時代―主役はワクチンと HPV First，細胞診は診断補助？

ニュージーランドオークランド市民病院病理細胞診断科　井上　環

要望講演 15　11 月 17 日（日）　13：20〜14：20　第 6 会場（2F 岡山コンベンションセンター レセプションホール）

座長：菅井　有（岩手医科大学医学部病理診断学講座）

細胞診検体を用いたがんゲノム検査：日本での現状と推進への課題

国立がん研究センター中央病院病理診断科　元井紀子

教育講演

教育講演 1　11 月 16 日（土）　16：00〜16：30　第 3 会場（3F ホテルグランヴィア岡山 パール）

座長：池田栄二（山口大学大学院医学系研究科病理形態学講座）

The IAC Yokohama System for Reporting Breast FNABC

IAC Yokohama System for Reporting Breast Fine Needle Aspiration Biopsy（FNAB）Cytopathology（2019）の紹介と運用

国際細胞学会 IAC 前理事長[1)], 日本鋼管病院病理診断科[2)], 慶應義塾大学医学部[3)]　長村義之[1,2,3)]

教育講演 2　11 月 16 日（土）　13：20〜14：00　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：吉見直己（琉球大学大学院医学研究科腫瘍病理学）

甲状腺細胞診と第 2 版ベセスダ報告様式

山梨大学医学部人体病理学　近藤哲夫

教育講演 3　11 月 16 日（土）　14：00〜14：40　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：津田　均（防衛医科大学校病態病理学講座）

免疫染色を用いた乳腺の細胞診断

北里大学北里研究所病院病理診断科[1)], 聖マリアンナ医科大学附属病院病理診断科[2)]
○前田一郎[1)], 小穴良保[2)]

教育講演 4　11 月 16 日（土）　14：40〜15：20　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：若狭朋子（近畿大学奈良病院病理診断科）

子宮頸癌検査として剥離細胞分析装置 LC-1000 の臨床的有用性を検証する臨床試験

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室[1)], 畿央大学大学院健康科学研究科[2)],
公益財団法人東京都予防医学協会検査研究センター[3)], 熊本大学医学部附属病院病理診断科[4)]
○仲村　勝[1)], 植田政嗣[2)], 岩田　卓[1)], 木口一成[3)], 三上芳喜[4)], 青木大輔[1)]

教育講演 5　11 月 16 日（土）　15：20〜16：00　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：小田瑞恵（医療法人社団こころとからだの元氣プラザ婦人科）

子宮頸がん検診の将来展望

自治医科大学産科婦人科学講座　藤原寛行

教育講演 6　11 月 16 日（土）　16：00〜16：40　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：谷山清己（呉医療センター・中国がんセンター病理診断科）

細胞診専門医教育の現状と新しい専門医制度

札幌医科大学産婦人科学講座[1)], KKR 斗南病院婦人科[2)]　○齋藤　豪[1)], 田中綾一[2)]

教育講演 7　11 月 16 日（土）　16：40〜17：20　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：北澤理子（愛媛大学大学院医学系研究科分子病理学講座）

ISO15189 病理検査室の精度管理・標準化とは

新渡戸文化短期大学臨床検査学科病理学　廣井禎之

教育講演 8　11 月 16 日（土）　17：20〜18：00　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：木佐貫篤（宮崎県立日南病院病理診断科）

細胞検査士の教育と認定

千葉科学大学危機管理学部保健医療学科　阿部　仁

教育講演 9　11 月 17 日（日）　8：30〜9：10　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：物部泰昌（川崎医科大学総合医療センター病理科）

脳腫瘍の病理：グリオーマとその鑑別診断

兵庫県立がんセンター病理診断科[1)], 神戸大学大学院医学研究科地域連携病理学[2)]　廣瀬隆則[1,2)]

教育講演 10　11 月 17 日（日）　9：10〜9：50　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：中泉明彦（創価大学看護学部看護学科）

膵神経内分泌腫瘍：臨床医から細胞診従事者へのメッセージ

仙台市医療センター仙台オープン病院消化管・肝胆膵内科[1)],
仙台市医療センター仙台オープン病院病理科[2)]
○野田　裕[1,2)], 伊藤　啓[1)], 澤井高志[2)]

教育講演 11　11 月 17 日（日）　9：50〜10：30　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：北澤荘平（愛媛大学大学院医学系研究科分子病理学講座）

イメージング質量分析と形態学の接点

徳島大学大学院医歯薬学研究部　常山幸一

教育講演 12　11 月 17 日（日）　10：30〜11：10　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：田口健一（九州がんセンター病理診断科）

EBUS-TBNA による肺癌の細胞診や組織生検材料の診断アルゴリズム

香川大学医学部附属病院病理診断科・病理部　羽場礼次

教育講演 13　11 月 17 日（日）　11：10〜11：50　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：井上　健（大阪市立総合医療センター病理診断科）

細胞診で口腔がん境界病変（PMDs）を正確に診断するために

医療法人美和会平成野田クリニック[1)], 大阪大学歯学部附属病院検査部[2)]　○岸野万伸[1,2)], 大家香織[2)]

教育講演 14　11 月 17 日（日）　13：20〜14：00　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：細根　勝（日本医科大学多摩永山病院病理部）

日ータイ二国間交流 25 年の歩みと今後の展望

日本医科大学多摩永山病院病理診断科・病理部[1)], 日本医科大学病理学（統御機構・腫瘍学）[2)],
三菱化学メディエンス病理・細胞診センター[3)]
○片山博徳[1)], 細根　勝[1)], 内藤善哉[2)], 前田昭太郎[1,3)]

教育講演 15　11 月 17 日（日）　14：00〜14：40　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：東美智代（鹿児島大学病院病理部・病理診断科）

病理・細胞診断業務における働き方改革

高知赤十字病院病理診断科部　黒田直人

教育講演 16 11 月 17 日（日） 14：40〜15：20 第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：鷹橋浩幸（東京慈恵会医科大学病理学講座）

尿細胞診標本作製法の標準化に向けた LBC 法の評価

倉敷芸術科学大学生命医科学科 佐藤正和

教育講演 17 11 月 17 日（日） 15：20〜16：00 第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：岡本愛光（東京慈恵会医科大学産婦人科学講座）

婦人科腫瘍のゲノム病理

大阪大学大学院医学系研究科先端ゲノム医療学講座 前田大地

シンポジウム

シンポジウム 1 11 月 16 日（土） 16：00〜17：40 第 2 会場（3F ホテルグランヴィア岡山 クリスタル）

座長：小塚祐司（三重大学医学部附属病院病理診断科）

鹿股直樹（聖路加国際病院病理診断科）

浸潤性乳癌における良悪性の鑑別とピットフォール

S1-1 浸潤性乳癌との鑑別における細胞診の役割

博愛会相良病院・病理診断科[1)], 博愛会相良病院臨床検査科[2)]

○大井恭代[1)], 嶽 愛美[2)], 富田暢子[2)], 板坂美里[2)], 前田ゆかり[2)]

S1-2 浸潤性乳癌との鑑別のための臨床に役立つ細胞診断のコツ

社会医療法人博愛会相良病院臨床検査部[1)], 同病理診断科[2)]

○前田ゆかり[1)], 大井恭代[2)], 嶽 愛美[1)], 富田暢子[1)], 板坂美里[1)]

S1-3 アポクリン病変の組織像・良悪性の鑑別点

久留米大学医学部附属医療センター病理診断科・臨床検査室[1)], 久留米大学医学部附属医療センター臨床検査室・病理[2)], 久留米大学医学部病理学講座[3)]

○山口 倫[1,3)], 阿部英二[2)], 矢野博久[3)]

S1-4 乳腺穿刺吸引細胞診でアポクリン変化を伴う病変の考え方

久留米大学医学部附属医療センター臨床検査室病理[1)], 久留米大学医学部附属医療センター病理診断科[2)], 久留米大学医学部付属病院病理診断科病理部[3)]

○阿部英二[1)], 山口 倫[2)], 秋葉 純[3)]

S1-5 乳腺二相性腫瘍の良悪性の鑑別－細胞像－

地方独立行政法人桑名市総合医療センター[1)], 三重大学医学部附属病院病理部[2)], 三重大学医学部附属病院乳腺センター[3)]

○今野和治[1)], 小塚祐司[2)], 北山美佳[2,3)], 柴原亜希子[2,3)], 矢野孝明[1)], 伊藤英樹[1)], 森 正美[1)], 仙波玲美[1)], 白石泰三[1)]

S1-6 乳腺二相性腫瘍の良悪性の鑑別（病理診断）

三重大学医学部付属病院病理部[1)], 桑名市総合医療センター[2)]

○小塚祐司[1)], 今野和治[2)]

シンポジウム 2　11 月 16 日（土）　10：00〜11：40　第 4 会場（3F 岡山コンベンションセンター コンベンションホール）

座長：岡本　聡（東北大学病院産婦人科）
宮城悦子（横浜市立大学医学部産婦人科学教室）

子宮頸部細胞診の現状と可能性

S2-1　子宮頸部細胞診の現状と可能性
久留米大学医学部病理学講座
○真田咲子

S2-2　日本と海外の子宮頸がん検診の現状と今後の展望
慶應義塾大学医学部産婦人科学教室[1)], 国立がん研究センター社会と健康研究センター[2)], 国立がん研究センターがん対策情報センター[3)], 国際医療福祉大学三田病院予防医学センター[4)], 慶應義塾大学大学院医学研究科医学研究系[5)]
○森定　徹[1)], 雑賀公美子[2,3)], 齊藤英子[4)], 河野可奈子[2,5)], 中山富雄[2)], 青木大輔[1)]

S2-3　本邦における HPV 検査を用いた実効性のある子宮頸がん検診のアルゴリズムを考える
藤沢市民病院産婦人科[1)], 横浜市立大学附属病院産婦人科[2)], 小田原市立病院産婦人科[3)], 大和市立病院産婦人科[4)], 国立がん研究センター社会と健康研究センター[5)]
○佐治晴哉[1)], 有野祐子[1)], 片山佳代[1)], 鈴木幸雄[2)], 今井雄一[2)], 水島大一[2)], 丸山康世[3)], 長谷川哲哉[4)], 松永竜也[2)], 中山富雄[5)], 宮城悦子[2)]

S2-4　HPV 併用検診と受診率向上・要精検を含めた精度管理〜山梨県における研究から〜
山梨県厚生連健康管理センター[1)], 甲府市医師会細胞診センター[2)], 山梨県立中央病院病理診断部細胞診・病理[3)]
○寺本勝寛[1)], 坂本光正[2)], 小林美奈[2)], 三村理恵[2)], 原田さつき[2)], 杉田典子[2)], 石井恵理[3)], 雨宮健司[3)], 雨宮早紀[3)], 小山敏雄[3)], 坂本春陽[2)]

S2-5　子宮頸がん検診への HPV 検査導入のインパクト―福井県の検討から―
福井大学産科婦人科学教室
○黒川哲司, 大沼利通, 品川明子, 知野陽子, 吉田好雄

シンポジウム 3　11 月 16 日（土）　13：10〜14：50　第 4 会場（3F 岡山コンベンションセンター コンベンションホール）

座長：亀山香織（慶應義塾大学病院病理診断科）
蔦　幸治（関西医科大学臨床病理学講座）

各臓器の細胞診の報告様式―その用語と背景について議論する①―肺・甲状腺・唾液腺

S3-1　肺癌細胞診の報告様式
国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院臨床検査科・病理診断科[1)], 北里大学病院呼吸器外科[2)], 東京女子医科大学八千代医療センター病理診断科[3)], 国立病院機構茨城東病院胸部疾患・療育医療センター病理診断科[4)], 京都大学付属病院病理診断科[5)], 香川大学医学部附属病院病理診断科・病理部[6)], 大阪はびきの医療センター病理診断科[7)], 畿央大学臨床細胞診研修センター[8)], 東京医科大学病院病理診断科[9)], 北里大学病院病院病理部[10)]
○澁木康雄[1)], 佐藤之俊[2)], 廣島健三[3)], 南　優子[4)], 吉澤明彦[5)], 羽場礼次[6)], 河原邦光[7)], 竹中明美[8)], 三宅真司[9)], 柿沼廣邦[10)]

S3-2　甲状腺細胞診の報告様式
隈病院臨床検査科[1)], 隈病院病理診断科[2)], 隈病院外科[3)]
○鈴木彩菜[1)], 廣川満良[2)], 宮内　昭[3)]

S3-3　唾液腺細胞診の診断用語とその特徴―従来の新報告様式からミラノシステムへ―
藤田医科大学医学部病理診断学講座
○浦野　誠

シンポジウム 4　11 月 16 日（土）　14：50〜16：30　第 4 会場（3F 岡山コンベンションセンター コンベンションホール）

座長：馬場正道（済生会滋賀県病院病理診断科）
豊田進司（奈良県総合医療センター産婦人科）

各臓器の細胞診の報告様式―その用語と背景について議論する②―子宮頸部・内膜・尿

S4-1　子宮頸部細胞診の報告様式
熊本赤十字病院病理診断科
○長峯理子

S4-2　子宮内膜細胞診の記述式報告様式（The Yokohama system）
JA 三重厚生連鈴鹿中央総合病院産婦人科[1)], JA 三重厚生連鈴鹿中央総合病院病理診断科[2)], 愛媛県立医療技術大学保健科学部臨床検査学科[3)], 福井大学器官制御医学講座産科婦人科[4)], 大阪大学大学院医学系研究科[5)], 地方独立行政法人堺市立病院機構堺市立総合医療センター病理診断科[6)], 弘前大学大学院保健学研究科[7)], 獨協医科大学産科婦人科[8)]
○矢納研二[1)], 中村　豊[2)], 則松良明[3)], 黒川哲司[4)], 品川明子[4)], 大沼利通[4)], 小林忠男[5)], 棟方　哲[6)], 渡邉　純[7)], 平井康夫[8)]

S4-3　尿細胞診の報告様式―その用語と背景―
大阪労災病院中央検査部[1)], 大阪労災病院病理診断科[2)]
○三村明弘[1)], 岡部美由紀[1)], 浦芝　敬[1)], 谷口一磨[1)], 森　秀夫[2)], 後藤孝吉[2)], 三輪秀明[2)]

シンポジウム 5　11 月 16 日（土）　16：30〜18：10　第 4 会場（3F 岡山コンベンションセンター コンベンションホール）

座長：清水道生（博慈会記念総合病院病理診断センター）
岩知道伸久（川崎医科大学中央研究センター）

細胞診用語を極める！（日常診療の疑問に答えます）

S5-1　基本事項に関する用語―エントーシス, ロゼット, 刷子縁, 異染性, ヘテロクロマチンについて―
川崎医科大学総合医療センター病理部[1)], 神戸常盤大学保健科学部医療検査学科[2)]
○山本弘基[1)], 畠　　榮[2)], 高須賀博久[1)], 日野寛子[1)], 成富真理[1)], 物部泰昌[1)]

S5-2　日常診療に役立つ何らかの名称のつく細胞
国立病院機構四国がんセンター臨床検査科[1)], 国立病院機構四国がんセンター病理科[2)]
○岡本奈美[1)], 山本珠美[1)], 田中慎一[1)], 高畑浩之[2)], 寺本典弘[2)]

S5-3　細胞所見に関する用語
日本医科大学付属病院病理診断科・病理部[1)], 日本医科大学病理学統御機構・腫瘍学[2)]
○坂谷貴司[1)], 葉山綾子[1)], 酒田美香[1)], 釜口晴美[1)], 内藤善哉[1,2)]

S5-4　人名絡みの用語
埼玉医科大学国際医療センター病理診断科
○永田耕治

S5-5　甲状腺病変の診断クルーとなる用語
和歌山県立医科大学医学部人体病理学教室[1)], 和歌山県立医科大学附属病院中央検査部病理診断部門[2)]
○松﨑生笛[1)], 木下勇一[2)], 永井宏和[2)], 山本綾菜[2)], 山本枝里子[2)], 淡路有恵[2)], 杉山絵美[2)], 吉井輝子[2)], 高橋祐一[1)], 岩橋吉史[1)], 割栢健史[1)], 藤本正数[1)], 小島史好[1)], 村田晋一[1)]

シンポジウム 6　11 月 16 日（土）　13：20～15：00　第 6 会場（2F 岡山コンベンションセンター レセプションホール）

座長：都築豊徳（愛知医科大学病院病理診断科）
村田晋一（和歌山県立医科大学医学部病理学第二教室）

新膀胱癌ガイドラインにおける尿細胞診の役割

S6-1　新膀胱癌診療ガイドライン―全体の変更点―
山口大学大学院医学系研究科泌尿器科
○松山豪泰

S6-2　臨床における尿細胞診の役割の再認識
JCHO 船橋中央病院泌尿器科[1)], 古賀病院 21 泌尿器科[2)], JCHO 船橋中央病院病理診断科[3)], 公立長生病院検査科[4)]
○関田信之[1)], 徳田雄治[2)], 中村咲恵[3)], 永田雅裕[3)], 横野秀樹[3)], 西周裕晃[4)], 小松悌介[3)]

S6-3　尿細胞診 Paris system―日本の報告様式との読み替え―
京都大学医学部附属病院病理診断科
○南口早智子

S6-4　膀胱癌診療ガイドラインにおける尿細胞診の役割―細胞検査士の立場から―
名古屋第二赤十字病院病理診断科
○瀬古周子

S6-5　泌尿器細胞診の報告様式について
桑名市総合医療センター[1)], 大阪労災病院[2)]
○白石泰三[1)], 三村明弘[2)]

シンポジウム 7　11 月 16 日（土）　15：00～16：40　第 6 会場（2F 岡山コンベンションセンター レセプションホール）

座長：佐藤康晴（岡山大学大学院保健学研究科病態情報科学領域）
加留部謙之輔（琉球大学大学院医学研究科細胞病理学講座）

これからのリンパ腫診断に求められるもの～ゲノム医療への挑戦と可能性～

S7-1　リンパ腫の診断
公益財団法人がん研究会がん研究所病理部
○竹内賢吾

S7-2　細胞診検体を用いた遺伝子検索への応用
岡山大学大学院病態情報科学[1)], 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病理学（腫瘍・第二）[2)]
○祇園由佳[1)], 吉野　正[2)], 佐藤康晴[1,2)]

S7-3　FISH 検査における細胞診標本の役割
埼玉医科大学総合医療センター病理部[1)], 埼玉医科大学総合医療センター血液内科[2)]
○大澤久美子[1)], 百瀬修二[1)], 青木智章[1)], 大野優子[1)], 松野和子[1)], 木内恭子[1)], 東　守洋[1)], 得平道英[2)], 木崎昌弘[2)], 田丸淳一[1)]

S7-4　次世代シークエンサーを用いたターゲットシークエンスの経験
琉球大学医学研究科細胞病理学講座
○崎浜秀悟

シンポジウム 8　11 月 16 日（土）　14：40〜16：20　第 7 会場（5F 岡山シティミュージアム 常設展示室）

座長：能登原憲司（倉敷中央病院病理診断科）
花田敬士（JA 尾道総合病院内視鏡センター）

膵癌撲滅を目指して―膵癌早期診断における細胞診の役割

S8-1　膵癌早期診断例の画像と病理所見
JA 尾道総合病院内視鏡センター
○花田敬士, 清水晃典, 栗原啓介

S8-2　“早期”膵癌および膵癌前駆病変の病理
自治医科大学医学部病理学・病理診断部
○福嶋敬宜

S8-3　膵液細胞診〜標本作製から判定までの極意〜
元大阪赤十字病院病理診断科[1], 大阪赤十字病院消化器内科[2]
○稲山久美子[1], 浅田全範[2]

S8-4　早期膵癌の細胞診断
九州大学病院病理診断科・病理部[1], 九州大学大学院形態機能病理学[2], 九州大学大学院病態制御内科学[3], 九州大学大学院臨床・腫瘍外科[4]
○大久保文彦[1], 古賀　裕[1], 野上美和子[1], 中附加奈子[1], 仲　正喜[1], 木村理恵[1], 山口知彦[1], 山元英崇[1], 藤森　尚[3], 大野隆真[4], 大塚隆生[4], 中村雅史[4], 小田義直[1,2]

S8-5　自己免疫性膵炎を合併した上皮内癌―発生の因果関係について―
東海大学医学部付属八王子病院病理診断科
○田尻琢磨

シンポジウム 9　11 月 17 日（日）　8：30〜10：10　第 2 会場（3F ホテルグランヴィア岡山 クリスタル）

座長：河原邦光（大阪はびきの医療センター病理診断科）
竹中明美（畿央大学臨床細胞学研修センター）

呼吸器（ヨーロッパ細胞学会の内容から）

S9-1　呼吸器細胞診材料における JSCC-JLCS 報告様式について
京都大学大学院医学研究科附属総合解剖センター[1], 東京女子医科大学八千代医療センター病理診断科[2], 北里大学病院呼吸器外科[3]
○吉澤明彦[1], 廣島健三[2], 佐藤之俊[3]

S9-2　呼吸器細胞診における反応性腺系異型細胞の review と JSCC-JLCS 報告様式における atypical cells
大阪はびきの医療センター病理診断科
○河原邦光

S9-3　肺癌細胞診における構造異型の検討
香川大学医学部附属病院病理部[1], 香川大学医学部附属病院病理診断科[2]
○宮本加菜[1], 羽場礼次[1,2]

S9-4　肺癌における核グレードの予後因子としての可能性
香川大学医学部附属病院・病理診断科[1], 香川大学医学部附属病院・病理部[2]
○井上耕佑[1], 門田球一[1], 宮本加菜[2], 片倉和哉[2], 本山睦美[2], 松永　徹[2], 伊吹英美[1], 石川　亮[1], 香川聖子[1], 宮井由美[1], 羽場礼次[1,2]

S9-5　肺腺癌における液状化細胞診（LBC）を用いた遺伝子および形態学的診断

杏林大学医学部外科学教室（呼吸器・甲状腺）[1)], 杏林大学医学部病院病理部[2)], 杏林大学医学部臨床検査医学教室[3)]
○田中良太[1)], 坂本憲彦[2)], 吉田　勤[1)], 橘　啓盛[1)], 大塚弘毅[3)], 岸本浩次[2)], 藤原正親[2)], 柴原純二[2)], 菅間　博[2)], 近藤晴彦[1)]

S9-6　地域保健・健康増進事業報告に基づく喀痰細胞診による肺癌発見率の格差に関する検討

東北大学加齢医学研究所呼吸器外科学分野[1)], 宮城県結核予防会複十字健診センター[2)], 宮城県対がん協会[3)], 仙台徳州会病院呼吸器外[4)], 鹿児島大学医歯学総合研究科呼吸器外科学分野[5)], 東北医科薬科大学光学診療部[6)]
○桜田　晃[1)], 齋藤泰紀[2)], 中嶋隆太郎[3)], 近　京子[3)], 遠藤千顕[4)], 佐藤雅美[5)], 佐川元保[6)], 岡田克典[1)]

S9-7　中皮腫の細胞診診断 update―中皮腫の遺伝子変異に基づく補助診断法

福岡大学病院病理部・病理診断科[1)], 福岡大学医学部病理学教室[2)], 兵庫医科大学病理学講座[3)], 大阪はびきの医療センター[4)], 東京女子医科大学八千代医療センター[5)], ピーシーエルジャパン PCL 福岡病理・細胞診センター[6)]
○濵崎　慎[1)], 木下義晃[2)], 松本慎二[1)], 佐藤鮎子[3)], 辻村　亨[3)], 河原邦光[4)], 廣島健三[5)], 亀井敏昭[6)], 鍋島一樹[2)]

シンポジウム 10　11 月 17 日（日）　8：30～10：10　第 6 会場（2F 岡山コンベンションセンター レセプションホール）

座長：棟方　哲（堺市立総合医療センター病理診断科）
大塚重則（医療法人藤和会藤間病院病理検査）

子宮内膜細胞診―報告様式とその運用

S10-1　当院における子宮内膜細胞診報告様式の現状と展望

弘前大学医学部附属病院病理部[1)], 弘前大学医学部附属病院病理診断科[2)], 弘前大学大学院保健学研究科生体検査科学領域[3)]
○熊谷直哉[1)], 小島啓子[1)], 岡田壮士[1)], 川村麻緒[1)], 小林弘実[1)], 藤田大貴[1)], 小田嶋広和[1)], 加藤哲子[1,2)], 黒瀬　顕[1,2)], 渡邉　純[3)]

S10-2　子宮内膜細胞診成績からみた記述式報告様式変更への課題

京都市立病院臨床検査技術科[1)], 京都市立病院病理診断科[2)]
○川辺民昭[1)], 野田みゆき[1)], 古市佳也[1)], 竹腰友博[1)], 岩元竜太[2)], 岩佐葉子[2)]

S10-3　当院における記述式内膜細胞診報告様式の運用と課題

永井マザーズホスピタル病理診断科[1)], 永井マザーズホスピタル産婦人科[2)]
○原田哲也[1)], 石井恵美[1)], 畠山重春[1)], 橋口史江[2)], 山科光正[1)], 永井　毅[1)]

S10-4　記述式報告様式―臨床的視点からみた報告様式の有用性と問題点―

福井大学医学部産科婦人科[1)], 福井大学医学部附属病院病理診断科病理部[2)]
○品川明子[1)], 黒川哲司[1)], 大沼利通[1)], 岩崎和美[2)], 前川秀樹[2)], 森　正樹[2)], 今村好章[2)], 吉田好雄[1)]

シンポジウム 11 11 月 17 日（日） 10：00〜11：40 第 7 会場（5F 岡山シティミュージアム 常設展示室）

座長：鍋島一樹（福岡大学医学部病理学講座）
渋田秀美（山口県立総合医療センター中央検査部）

体腔液細胞診における技術的基礎と応用（標本作製より分子病理学的手法について）

S11-1 「体腔液検体における中皮腫を主とした診断の流れとその手法」
福岡大学医学部病理学講座・福岡大学病院病理部/病理診断科[1], 山口県立総合医療センター中央検査部[2]
○鍋島一樹[1], 渋田秀美[2]

S11-2 体腔液細胞診におけるプレアナリシスの重要性
公立昭和病院臨床検査科[1], 昭和大学医学部病理診断学講座[2], 国際医療福祉大学三田病院病理部[3], 公立昭和病院病理診断科[4]
○濱川真治[1,2], 近藤洋一[1], 倉品賢治[1], 小坂美絵[1], 若林 良[1], 柏崎好美[1], 櫻井 勉[1], 瀧本雅文[2], 相田真介[3], 田頭 周[4], 吉本多一郎[4]

S11-3 分子病理学的検索を目的とした体腔液検体の取り扱い方
北海道大学病院病理部[1], 北海道医療大学[2], 北海道大学病院ゲノム・コンパニオン診断研究部門[3]
○出口貴祥[1], 丸川活司[2], 諸岡亜早美[1], 清水知浩[1], 恩田千景[1], 渡部涼子[1], 後藤久美[1], 石田裕子[1], 安孫子光春[1], 畑中 豊[3], 松野吉宏[1]

S11-4 Q-FISH 法による胸水中の中皮細胞および腫瘍細胞のテロメア長測定とその意義
国際医療福祉大学三田病院病理診断センター[1], 東京都健康長寿医療センター研究所老年病理学研究チーム[2], 横須賀共済病院病理部[3]
○相田真介[1], 相田順子[2], 直井美穂[2], 津浦幸夫[3]

S11-5 体腔液細胞診における細胞鑑別手法としての免疫染色と FISH 法の実際と注意点
福岡大学病院病理部・病理診断科
○松本慎二, 濵崎 慎, 角谷優子, 西中村恵輔, 鍋島一樹

シンポジウム 12 11 月 17 日（日） 13：20〜15：00 第 7 会場（5F 岡山シティミュージアム 常設展示室）

座長：有廣光司（広島大学病院病理診断科）
石田克成（広島大学病院病理診断科）

細胞診におけるゲノム医療の導入：現状と展望

S12-1 胆汁細胞診の精度向上のために microRNA の検索は臨床応用可能か？
広島大学病院病理診断科
○内畠由加里, 有廣光司, 新原菜香, 村上拓也, 越智真悠, 青木知恵, 丸橋由加里, 清水智美, 金子佳恵, 石田克成, 尾田三世, 森 馨一, 織田麻琴, 城間紀之

S12-2 遺伝子染色体検査への細胞診の応用
名古屋第一赤十字病院細胞診分子病理診断部[1], 名古屋第一赤十字病院病理部[2]
○郡司昌治[1], 杉山知咲季[1], 山下比鶴[1], 藤瀬佳穂[1], 伊藤 藍[2], 小出知美[2], 藤野雅彦[1], 伊藤雅文[2]

S12-3 保険承認されたがん遺伝子パネル検査の特徴および臨床での実践
国立がん研究センター中央病院病理診断科
○谷田部恭

S12-4 細胞診検体を用いたがん遺伝子パネル解析の可能性
山梨県立中央病院ゲノム解析センター[1], 山梨県立中央病院検査部ゲノム検査科[2]
○雨宮健司[1,2]

シンポジウム 13　11 月 17 日（日）　8：30〜10：10　第 8 会場（2F 岡山県医師会館 三木記念ホール）

座長：湊　宏（石川県立中央病院病理診断科）
秋葉　純（久留米大学病院病理診断科・病理部）

適切な細胞診報告を行うための preanalytical な取り組み

S13-1　口腔擦過細胞診の LBC 標本作製における前処理の必要性について
九州歯科大学健康増進学講座口腔病態病理学
○矢田直美, 松尾　拡

S13-2　膵臓 EUS-FNA における診断精度向上のための工夫
金沢大学附属病院病理診断科・病理部
○水口敬司, 嶋口智恵, 玉野裕子, 酒野香織, 下田　翼, 田中愛衣, 中田聡子, 野島孝之, 池田博子

S13-3　婦人科領域における LBC 検体の前処理工程について
東京慈恵会医科大学附属病院病院病理部[1], 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター[2]
○伊藤聡史[1], 梅澤　敬[2], 堀口絢奈[1], 土屋幸子[1], 鷹橋浩幸[1]

S13-4　肺がん細胞診と遺伝子検査
国立がん研究センター中央病院臨床検査科[1], 国立がん研究センター中央病院病理診断科[2]
○時田和也[1,2], 福原　萌[1,2], 柿島裕樹[1], 澁木康雄[1,2], 元井紀子[1,2]

S13-5　中皮腫診断での体腔液細胞診の意義とプレアナリシス
PCL 福岡病理・細胞診センター[1], PCL 川越細胞診センター[2]
○亀井敏昭[1], 早川優佳[1], 平田祐子[1], 亀井美由紀[1], 小原光祥[1], 岩井幸子[1], 平井康夫[2]

ワークショップ

ワークショップ 1　11 月 16 日（土）　10：00〜11：30　第 2 会場（3F ホテルグランヴィア岡山 クリスタル）

座長：松永　徹（香川大学医学部附属病院病理部）
有安早苗（川崎医療福祉大学医療福祉医療技術学部臨床検査学科）

Rapid on-site evaluation（ROSE）の可能性と未来―現状をふまえたこれからの展開―

W1-1　当院 on-site cytology/ROSE の現状
香川大学医学部附属病院病理診断科・病理部
○松永　徹, 本山睦美, 多田有輝子, 宮本加菜, 郷田　衛, 片倉和哉, 大通清美, 木村なちの, 井上耕佑, 伊吹英美, 石川　亮, 香川聖子, 宮井由美, 門田球一, 羽場礼次

W1-2　転勤の多い施設での ROSE の現状，精度維持について〜2 施設を経験して〜
国立病院機構米子医療センター臨床検査科[1], 川崎医療福祉大学医療技術学部臨床検査学科[2], 倉敷芸術科学大学生命医科学科[3], 国立病院機構関門医療センター臨床検査科[4], 国立病院機構岡山医療センター[5]
○小早川奨[1], 有安早苗[2], 佐藤正和[3], 見國真樹[4], 神農陽子[5]

W1-3 当院における Rapid on-site evaluation（ROSE）の現状―検体採取から標本作製―

大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院臨床検査技術部病理検査室[1)], 大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院病理診断科[2)]
○原田美香[1)], 香田浩美[1)], 山口大介[1)], 中村香織[1)], 小寺明美[1)], 永田麻水[1)], 三田佳那[1)], 石井文彩[2)], 板倉淳哉[2)], 内野かおり[2)]

W1-4 当院における Rapid on-site evaluation（ROSE）の導入とその現状について

東海大学医学部付属病院病理検査技術科[1)], 東海大学医学部付属八王子病院臨床検査技術科[2)], 東海大学医学部基盤診療学系病理診断学[3)]
○才荷　翼[1)], 加戸伸明[1)], 萩原範子[1)], 宮嶋葉子[1)], 伊藤　仁[1)], 上山由美子[1)], 向田大輔[1)], 芹澤昭彦[1)], 町田知久[2)], 平林健一[3)], 梶原　博[3)], 中村直哉[3)]

W1-5 呼吸器・消化器以外の領域における ROSE の実際

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院病理診断科
○安田玲子, 佐々木真実, 赤埴由紀子, 草苅宏有, 柳澤信之, 相田芳夫

W1-6 内視鏡検査兼務の細胞検査士の役割と ROSE

社会医療法人近森会近森病院臨床検査部病理検査室[1)], 社会医療法人近森会近森病院病理診断科[2)]
○宮内保奈実[1)], 島崎真由[1)], 米谷久美子[1)], 久保　唯[1)], 尾崎綾乃[1)], 今本隼香[1)], 橘　知佐[1)], 円山英昭[2)]

ワークショップ 2　11 月 16 日（土）　10：00～11：30　第 3 会場（3F ホテルグランヴィア岡山 パール）

座長：園部　宏（岡山労災病院病理診断科）
浅見英一（がん・感染症センター東京都立駒込病院病理科）

軟部腫瘍における細胞診の有用性

W2-1 軟部腫瘍における細胞診の有用性

がん・感染症センター都立駒込病院病理科
○元井　亨, 浅見英一

W2-2 上皮様および紡錘形細胞軟部腫瘍における細胞診断

九州大学大学院医学研究院形態機能病理学
○山田裕一

W2-3 粘液性腫瘍の細胞診

がん・感染症センター都立駒込病院病理科
○浅見英一, 元井　亨

W2-4 巨細胞が出現する軟部腫瘍の細胞像

神戸大学医学部附属病院病理部[1)], 兵庫県立がんセンター病理診断科[2)]
○塚本龍子[1)], 小松正人[1)], 伊藤智雄[1)], 廣瀬隆則[2)]

W2-5 一般病院でも遭遇しうる小円形細胞肉腫の細胞像と組織像について

労働者健康安全機構九州労災病院病理診断科[1)], 産業医科大学医学部第 1 病理学[2)]
○槇原康亮[1)], 丈達真央[1)], 久岡正典[2)]

W2-6 新しい疾患概念の軟部腫瘍：組織像と細胞像

札幌医科大学医学部病理診断学
○杉田真太朗, 長谷川匡

ワークショップ 3　11 月 16 日（土）　10：00〜11：30　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：佐藤之俊（北里大学医学部呼吸器外科学）
澁木康雄（国立がん研究センター中央病院病理診断科・臨床検査科）

肺癌細胞診の可能性―鑑別と限界―

W3-1　肺癌細胞診の可能性―鑑別と限界―　臨床の立場から
東邦大学医学部外科学講座呼吸器外科学分野
○伊豫田明, 東　陽子, 肥塚　智, 坂井貴志, 大塚　創, 佐野　厚

W3-2　呼吸器領域における腺癌の鑑別と限界
畿央大学臨床細胞学研修センター
○竹中明美

W3-3　扁平上皮癌の鑑別と限界
東京医科大学病院病理診断科[1], 東京医科大学人体病理学分野[2], 東京医科大学呼吸器甲状腺外科学分野[3], 香川大学医学部附属病院病理診断科[4]
○三宅真司[1], 松林　純[1,2], 垣花昌俊[3], 羽場礼次[4], 忽滑谷昌平[1], 藤井愛子[1], 渡部顕章[1], 谷川真希[1,2], 高橋礼典[1,2], 山口　浩[1,2], 池田徳彦[3], 長尾俊孝[1,2]

W3-4　ゲノム時代の鑑別と限界
国立がん研究センター中央病院病理診断科
○橋本大輝

W3-5　LBC の鑑別と限界
杏林大学医学部外科学教室（呼吸器・甲状腺）[1], 杏林大学医学部病院病理部[2], 杏林大学医学部臨床検査医学教室[3]
○田中良太[1], 坂本憲彦[2], 吉田　勤[1], 橘　啓盛[1], 大塚弘毅[3], 岸本浩次[2], 藤原正親[2], 柴原純二[2], 菅間　博[2], 近藤晴彦[1]

W3-6　対策型肺がん検診における喀痰細胞診の状況
国立がん研究センター社会と健康研究センター検診研究部
○中山富雄

ワークショップ 4　11 月 16 日（土）　10：00〜11：30　第 7 会場（5F 岡山シティミュージアム 常設展示室）

座長：大石徹郎（鳥取大学医学部附属病院産科婦人科）
横山俊朗（熊本大学病院中央検査部）

Hyperchromatic crowded cell group を極める

W4-1　HCCG の概念と意義について
富山赤十字病院病理診断科
○前田宜延, 佐賀良子, 石黒芝輝

W4-2　子宮頸部 LBC でみられる hyperchromatic crowded cell groups の細胞判定上の意義と観察法
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター病院病理部[1], 東京慈恵会医科大学産婦人科学講座[2], 東京慈恵会医科大学附属第三病院産婦人科[3], 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科分子病態検査学分野[4]
○梅澤　敬[1], 梅森宮加[1], 池田奈麻子[1], 野村浩一[1,3], 岡本愛光[2], 山田恭輔[3], 沢辺元治[4]

W4-3　HCCG の鑑別（検鏡のコツ，検体処理法による所見の違い）
国立病院機構四国がんセンター臨床検査科[1], 四国がんセンター病理科[2]
○田中慎一[1], 山本珠美[1], 岡本奈美[1], 高畑浩之[2], 寺本典弘[2]

W4-4 HCCG の鑑別（病理像との対比から）
住友病院病理部
○藤田茂樹

ワークショップ 5 11 月 16 日（土） 13：10～14：40 第 7 会場（5F 岡山シティミュージアム 常設展示室）

座長：岡 輝明（複十字病院病理診断部）
羽原利幸（中国中央病院臨床検査科）

体腔洗浄細胞診の有用性と課題

W5-1 臨床医から見た体腔液洗浄細胞診の意義と課題
鳥取県立中央病院[1)], 鳥取大学医学部保健学科[2)], 鳥取大学医学部附属病院病理部[3)], 鳥取大学医学部病態制御外科[4)]
○廣岡保明[1,2,3)], 松下倫子[2)], 遠藤由香利[3)], 堀江 靖[3)], 宮谷幸造[4)], 松永知之[4)], 福本陽二[4)], 徳安成郎[4)], 藤原義之[4)]

W5-2 体腔洗浄液の標本作製法と集細胞法（cell block）
千葉県がんセンター臨床病理部病理検査科[1)], 千葉県がんセンター臨床病理部[2)]
○有田茂実[1)], 小高亜紀子[1)], 伊丹真紀子[2)]

W5-3 当院での術中迅速腹腔洗浄細胞診断における LBC の役割–従来法との比較–
香川大学医学部附属病院病理部[1)], 香川大学医学部附属病院病理診断科[2)]
○片倉和哉[1)], 松永 徹[1)], 多田有輝子[1)], 大通清美[1)], 宮本加菜[1)], 郷田 衛[1)], 本山睦美[1)], 木村なちの[2)], 井上耕佑[2)], 伊吹英美[2)], 石川 亮[2)], 香川聖子[2)], 宮井由美[2)], 門田球一[1,2)], 羽場礼次[1,2)]

W5-4 体腔洗浄細胞診断における標本作成法（HE 染色の有用性）
JA 広島厚生連尾道総合病院病理研究検査科
○神田真規, 杉山佳代, 佐々木健司, 米原修治

W5-5 当院における術中迅速細胞診固定法の工夫とその有用性
公立昭和病院臨床検査科[1)], 国際医療福祉大学三田病院病理部[2)]
○若林 良[1)], 濱川真治[1)], 倉品賢治[1)], 小坂美絵[1)], 近藤洋一[1)], 柏崎好美[1)], 櫻井 勉[1)], 田頭 周[1)], 吉本多一郎[1)], 相田真介[2)]

ワークショップ 6 11 月 16 日（土） 16：20～17：50 第 7 会場（5F 岡山シティミュージアム 常設展示室）

座長：寺本典弘（四国がんセンター病理科）
小林博久（川崎医科大学附属病院 病院病理部）

細胞診現場でのヒヤリハット

W6-1 細胞診の現場でどんなインシデントがどれくらい起こっているか～国立病院機構『病理インシデント研究班研究』から
四国がんセンター病理科，がん予防疫学研究部
○寺本典弘

W6-2 当院におけるヒヤリハットの実状と対策
国立病院機構山口宇部医療センター臨床検査科[1)], 国立病院機構関門医療センター病理診断科[2)], 国立病院機構山口宇部医療センター臨床研究部[3)]
○村上匡美[1)], 西村俊直[1)], 村上知之[2)], 三村雄輔[3)]

W6-3　呼吸器細胞診：臨床現場でのリスクマネージメント

筑波大学呼吸器外科[1)], 筑波大学診断病理[2)], 筑波大学附属病院病理部[3)], 国立病院機構茨城東病院療育医療センター病理診断科[4)]

○後藤行延[1)], 上田　翔[1)], 佐伯祐典[1)], 村田佳彦[3)], 中川智貴[3)], 河合　瞳[3)], 松岡亮太[2)], 坂本規彰[2)], 南　優子[2,4)], 野口雅之[2)], 佐藤幸夫[1)]

W6-4　細胞診現場でのヒヤリハット～病理専門医/細胞診専門医の立場から～

独立行政法人国立病院機構東京医療センター臨床検査科

○村田有也, 大内結衣, 山本伸明, 波多野まみ, 山田　晶, 白石淳一, 前島新史

ワークショップ 7　11 月 16 日（土）　10：00～11：30　第 9 会場（4F 岡山県医師会館 401 会議室）

座長：三浦弘守（東北大学病院病理部）
大谷　博（白十字病院臨床検査科）

高異型度尿路上皮癌の診断にはどの細胞所見が最も有用か？

W7-1　高異型度尿路上皮癌と低異型度尿路上皮癌の組織学的境界線

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病理学

○林　洋子

W7-2　統計学的な細胞所見の解析と遺伝子解析から多角的に高異型度尿路上皮癌にせまる

和歌山県立医科大学医学部人体病理学教室[1)], 和歌山県立医科大学附属病院中央検査部病理診断部門[2)]

○松﨑生笛[1)], 木下勇一[2)], 永井宏和[2)], 山本綾菜[2)], 山本枝里子[2)], 淡路有恵[2)], 杉山絵美[2)], 吉井輝子[2)], 高橋祐一[1)], 岩橋吉史[1)], 割栢健史[1)], 藤本正数[1)], 小島史好[1)], 村田晋一[1)]

W7-3　高異型度尿路上皮癌診断における好酸性細胞質内封入体（ECIs）の意義

川崎医科大学総合医療センター病理部[1)], 川崎医療福祉大学医療技術学部臨床検査学科[2)]

○成富真理[1)], 有安早苗[2)], 山本弘基[1)], 日野寛子[1)], 高須賀博久[1)], 物部泰昌[1)]

W7-4　高異型度尿路上皮癌の診断には何が重要か―形態計測に基づく統計学的解析―

東北大学病院病理部[1)], 東北大学大学院医学研究科病理診断学分野[2)]

○菅原隆譲[1)], 三浦弘守[1)], 村山優理香[1)], 山口祐香[1)], 今野かおり[1)], 安達友津[1)], 小泉照樹[1)], 吉田詩織[1)], 向美祐希[1)], 齊藤涼子[1)], 佐藤聡子[1)], 藤島史喜[2)], 渡辺みか[1)], 笹野公伸[1,2)]

ワークショップ 8　11 月 17 日（日）　8：30～10：00　第 3 会場（3F ホテルグランヴィア岡山 パール）

座長：渡邉　純（弘前大学大学院保健学研究科生体検査科学領域）
南部雅美（熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科）

細胞検査士・研究活動教育への試み

W8-1　大学院修士課程における細胞検査士養成，修士課程での研究教育

神戸大学大学院保健学研究科[1)], 神戸大学医学部附属病院病理部・病理診断科[2)]

○大崎博之[1)], 鴨志田伸吾[1)], 塚本龍子[2)], 伊藤智雄[2)]

W8-2　倉敷芸術科学大学における教育への取り組み―次世代型細胞検査士への架け橋に

倉敷芸術科学大学生命科学部生命医科学科[1)], 加計学園細胞病理学研究所[2)], 倉敷芸術科学大学大学院産業科学技術研究科[3)]

○森　康浩[1,2)], 高木翔士[1,2)], 佐藤正和[1,2,3)], 三宅康之[1,2,3)]

W8-3　臨床現場，社会人院生，教育現場における研究

弘前大学大学院保健学研究科生体検査科学領域

○吉岡治彦, 堀江香代, 渡邉　純

W8-4 ラオスでの研究業績による学位取得の経緯と短期大学における研究教育の取り組み
山陽女子短期大学臨床検査学科
○楾 清美

W8-5 医学部技術員としての学位取得とその後
埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科検査技術科学専攻
○矢野哲也

ワークショップ 9 11 月 17 日（日） 8：30〜10：00 第 4 会場（3F 岡山コンベンションセンター コンベンションホール）

座長：桜井孝規（関西電力病院病理診断科）
伊藤 仁（東海大学医学部付属病院病理検査技術科）

乳腺細胞診の未来

W9-1 免疫染色と細胞診による乳がん組織の免疫病理形質の解析
札幌医科大学附属病院病理部[1)], 札幌医科大学医学部病理学第一講座[2)]
○淺沼広子[1)], 森谷 純[1)], 伊藤美香子[1)], 小泉由希[1)], 木戸朋美[1)], 大門史士[1)], 竹浪智子[1)], 合田 文[1)], 杉田真太朗[1)], 藤田裕美[1)], 辻脇光洋[1)], 鳥越俊彦[2)], 長谷川匡[1)]

W9-2 乳腺細胞診検体を用いた遺伝子検査
土浦協同病院検査部
○池田 聡

W9-3 乳腺診断における AI の現状と展望
東京大学大学院医学系研究科次世代病理情報連携学講座
○佐々木毅

W9-4 細胞診断学における光超音波イメージングの可能性
京都大学大学院医学研究科外科学講座乳腺外科学
○松本純明, 戸井雅和

ワークショップ 10 11 月 17 日（日） 10：10〜11：40 第 6 会場（2F 岡山コンベンションセンター レセプションホール）

座長：松元 隆（愛媛大学大学院医学系研究科産科婦人科学）
藤井和晃（鳥取細胞診断学センター）

内膜細胞診の取り扱い

W10-1 我々の考える子宮内膜細胞診の取り扱いについて
愛媛大学医学部・産婦人科[1)], 愛媛大学医学部附属病院・病理部[2)], 四国がんセンター・病理科[3)]
○宇佐美知香[1)], 松元 隆[1)], 恩地裕史[1)], 片山英司[2)], 北澤理子[2)], 寺本典弘[3)]

W10-2 岩手医科大学産婦人科における子宮内膜細胞診の取り扱い
岩手医科大学医学部産婦人科
○利部正裕

W10-3 検査センターにおける ThinPrep 法の子宮内膜細胞診の応用
（株）エスアールエル福岡ラボラトリー
○池本理恵, 平原尊史, 久岡陽子, 松田まどか, 堤 里奈, 西 国広, 伊藤裕司, 中島 豊

W10-4 ATEC の細胞像から考える記述式報告様式の有用性
大阪府済生会野江病院病理診断科[1)], 関西医療大学[2)], 大阪市立大学[3)]
○小椋聖子[1)], 矢野恵子[2)], 江木さつき[1)], 城戸貴之[1)], 高安祥子[1)], 神原七規[1)], 桜井幹己[3)], 竹井雄介[1)]

ワークショップ 11　11 月 17 日（日）　8：30〜10：00　第 7 会場（5F 岡山シティミュージアム 常設展示室）

座長：小松京子（がん研究会有明病院細胞診断部）
田畑　務（東京女子医科大学産婦人科）

婦人科領域の Neuroendocrine tumor revisited

W11-1　子宮頸部 Neuroendocrine Tumor の臨床病理学的特徴と最近の話題
聖マリアンナ医科大学産婦人科学[1)], 静岡がんセンター婦人科[2)], 関西ろうさい病院産婦人科[3)]
○久慈志保[1)], 平嶋泰之[2)], 伊藤公彦[3)], 鈴木　直[1)]

W11-2　子宮頸部小細胞癌の細胞像〜ThinPrep 標本の特徴〜
京都大学医学部附属病院病理診断科/病理部
○白波瀬浩幸, 南口早智子, 羽賀博典

W11-3　子宮頸部擦過細胞診における NET（小細胞癌）の細胞像
順天堂大学医学部附属練馬病院病理診断科[1)], 順天堂大学医学部附属練馬病院臨床検査科[2)], 順天堂大学医学部附属練馬病院産科・婦人科[3)]
○青木裕志[1)], 浅見志帆[1)], 飯野瑞貴[1)], 大谷未果[1)], 大橋久美子[2)], 坂口亜寿美[1)], 小倉加奈子[1,2)], 濱村憲佑[3)], 荻島大貴[3)], 松本俊治[1)]

W11-4　子宮体部 NET の臨床病理像
中津市立中津市民病院産婦人科[1)], 大分大学医学部産科婦人科[2)]
○松本治伸[1,2)]

W11-5　婦人科領域の神経内分泌腫瘍/NET 概説
埼玉医科大学国際医療センター病理診断
○安田政実

ワークショップ 12　11 月 17 日（日）　10：10〜11：40　第 8 会場（2F 岡山県医師会館 三木記念ホール）

座長：内藤嘉紀（久留米大学病院病理診断科・病理部）
井上博文（岡山大学病院医療技術部病理部/病理診断科,
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科臨床遺伝子医療学）

膵 EUS-FNA の精度向上を目指して

W12-1　膵腫瘍の molecular cytopathology と EUS-FNA 検体を用いた分子学的解析の展望
東海大学医学部基盤診療学系病理診断学[1)], 東海大学医学部付属病院病理検査技術科[2)], 東海大学医学部消化器内科[3)]
○平林健一[1)], 才荷　翼[2)], 川嶌洋平[3)], 川西　彩[3)], 森町将司[3)], 高梨由美[1)], 加戸伸明[2)], 芹澤昭彦[2)], 宮嶋葉子[2)], 伊藤　仁[2)], 中村直哉[1)]

W12-2　胆膵領域の実地臨床における EUS-FNA の現状と問題点〜ゲノム医療時代を迎えて〜
岡山大学病院消化器内科総合内科
○堀口　繁, 加藤博也, 堤康一郎, 友田　健, 松本和幸, 内田大輔, 山崎辰洋, 皿谷洋祐, 宮本和也, 松三明宏, 上田英次郎, 岡田裕之

W12-3　膵 EUS-FNA における液状化細胞診（LBC）の併用効果とその役割
久留米大学病院病理診断科・病理部[1)], 久留米大学医学部病理学講座[2)]
○高瀬頼妃呼[1)], 内藤嘉紀[1)], 河原明彦[1)], 安倍秀幸[1)], 村田和也[1)], 福満千容[1)], 吉田友子[1)], 尾崎由佳子[1)], 牧野諒央[1)], 矢野博久[2)], 秋葉　純[1)]

W12-4 膵臓の超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診検体を対象としたmicroRNA検索の試み

広島大学病院病理診断科
○織田麻琴, 有廣光司, 城間紀之, 森　馨一, 尾田三世, 石田克成, 高井チカ子, 金子佳恵, 清水智美, 丸橋由加里, 青木知恵, 越智真悠, 内畠由加里, 村上拓也, 新原菜香

ワークショップ13　11月17日（日）　8：30〜10：00　第9会場（1F ANAクラウンプラザホテル岡山 曲水）

座長：長尾俊孝（東京医科大学人体病理学分野）
樋口佳代子（沖縄協同病院病理診断科）

唾液腺ミラノシステムの実際の運用と問題点（2）—AUS，SUMP，補助診断の活用を中心に—

W13-1 唾液腺ミラノシステムの概要の解説—国内での試行運用結果をふまえて

沖縄協同病院病理診断科[1], 藤田医科大学医学部病理診断学講座[2]
○樋口佳代子[1], 浦野　誠[2]

W13-2 「意義不明な異型“AUS”の実例と問題点」

九州大学病院病理診断科・病理部[1], 九州大学医大学院学研究院形態機能病理学[2]
○野上美和子[1], 大久保文彦[1], 山元英崇[1,2], 小田義直[1,2]

W13-3 唾液腺細胞診ミラノシステム—良悪性不明な唾液腺腫瘍（SUMP）について—

成田富里徳洲会病院病理診断科[1], 日本大学松戸歯学部附属病院病理診断科[2], 日本大学松戸歯学部口腔病理学講座[3]
○加藤　拓[1], 松本　敬[2], 久山佳代[3]

W13-4 唾液腺細胞診における補助診断の活用

久留米大学病院病理診断科・病理部
○河原明彦, 牧野諒央, 安倍秀幸, 高瀬頼妃呼, 村田和也, 尾崎由佳子, 福満千容, 吉田友子, 内藤嘉紀, 秋葉　純

ワークショップ14　11月17日（日）　13：20〜14：50　第9会場（1F ANAクラウンプラザホテル岡山 曲水）

座長：久山佳代（日本大学松戸歯学部病理学講座）
橋本和彦（東京歯科大学市川総合病院臨床検査科）

口腔細胞診の診断基準（ベセスダシステム）の見直し

W14-1 口腔細胞診ガイドラインにおける扁平上皮細胞の考察

日本大学松戸歯学部病理学講座[1], 日本大学松戸歯学部附属病院病理診断科[2], 医療法人社団誠馨会病理センター[3], 日本大学松戸歯学部生理学講座[4]
○才藤純一[1,3], 松本　敬[2], 金田悦子[1], 森川美雪[1], 宇都宮忠彦[1,2], 末光正昌[1,2], 浮ヶ谷匡恭[3], 二谷悦子[1], 横山　愛[4], 久山佳代[1,2]

W14-2 OSIL，SCCに出現する角化型表層異型扁平上皮細胞の観察視点について

日本大学松戸歯学部付属病院病理診断科[1], 日本大学松戸歯学部病理学講座[2], 医療法人社団誠馨会病理センター[3], 成田富里徳洲会病院病理診断科[4], 永寿総合病院[5], 千葉病理診断科クリニック[6], 松戸市総合医療センター[7]
○松本　敬[1], 森川美雪[2], 金田悦子[2], 才藤純一[3], 加藤　拓[4], 亀山由歌子[2,5], 横山　綾[7], 末光正昌[1,2], 齋藤隆明[6], 宇都宮忠彦[1,2], 久山佳代[1,2]

W14-3 診断における標準化を目指して—細胞採取法について—

島根大学医学部歯科口腔外科学講座[1], 益田赤十字病院歯科口腔外科[2]
○秀島克巳[1], 狩野正明[1], 市山友子[2], 管野貴浩[1]

パネルディスカッション

11 月 16 日（土）　17：00～18：00　第 3 会場（3F ホテルグランヴィア岡山 パール）

座長：松原　修（平塚共済病院病理診断科/がん研究会がん研究所）

清川貴子（東京慈恵会医科大学病院病理学講座・病院病理部）

Global Standardization of Cytology

PD-1　Internal Quality Assurance in Cytology

Anatomical Pathologist and Executive Director of ACT Pathology, Canberra Health Services；Chair and Professor of Pathology, College of Health and Medicine, Australian National University

○Jane Dahlstrom

PD-2　Educational Resources and Standardization by International Academy of Cytology（IAC）

Past-President of IAC, President-elect of IAP, Nippon Koukan Hospital, Keio University School of Medicine

○Robert Y. Osamura

PD-3　Cytology in our lab—a daily job and self-improvement

Department of Pathology and Oncology, School of Medicine, University of Occupational and Environmental Health, Japan[1], Department of Surgical Pathology, University Hospital, University of Occupational and Environmental Health, Japan[2]

○Masanori Hisaoka[1], Haruko Oka[2]

スライドカンファレンス

11月17日（日） 13：20〜15：10 第4会場（3F 岡山コンベンションセンター コンベンションホール）

座長：坂東良美（徳島大学病院病理部）

福屋美奈子（川崎医科大学附属病院病院病理部）

婦人科頸部（液状）

SC-1 出題者 白波瀬浩幸（京都大学医学部附属病院病理診断科・病理部）
回答者 西條康代（徳島大学病院病理部）

呼吸器

SC-2 出題者 二宮慶太（京都桂病院検査科）
回答者 多田有輝子（香川大学医学部附属病院病理診断科・病理部）

体腔液

SC-3 出題者 中村純子（兵庫医科大学病院病院病理部）
回答者 岡部雅子（鳥取赤十字病院検査部）

甲状腺

SC-4 出題者 中村香織（倉敷中央病院臨床検査技術部病理検査室）
回答者 小林杏奈（兵庫県立がんセンター病理診断科）

口腔

SC-5 出題者 北村哲也（北海道口腔病理診断所）
回答者 富宇加麻里（大阪医科大学附属病院病理部）

乳腺

SC-6 出題者 鈴木正敏（聖路加国際病院病理診断科）
回答者 米 亮祐（川崎医科大学附属病院病院病理部）

細胞検査士会要望教育シンポジウム

11 月 17 日（日）　14：20〜15：50　第 6 会場（2F 岡山コンベンションセンター レセプションホール）

座長：古田則行（がん研有明病院臨床病理センター細胞診断部）
山田範幸（岩手医科大学附属病院病理診断科）

液体処理標本（Liquid-based preparation）のメリット・デメリット

SYS-1　胆管擦過細胞診における LBP
福岡赤十字病院病理診断科
○碇　益代, 田河賢人, 石井萌美, 遠矢浩隆, 小材和浩, 中島　豊, 西山憲一

SYS-2　口腔擦過細胞診における LBC 法の利点と問題点
九州歯科大学健康増進学講座口腔病態病理学
○矢田直美

SYS-3　甲状腺穿刺吸引細胞診　ThinPrep®の実際
大阪警察病院病理科[1], 第二大阪警察病院病理科[2]
○青木　弘[1], 安岡弘直[1], 金田敦代[1], 郡司有理子[2], 福田沙織[2], 島田　香[1], 磯　賢治[1], 瀬戸家要[2], 志賀安香子[1], 三毛麻子[1], 辻　洋美[1], 小嶋啓子[2], 辻本正彦[2]

SYS-4　唾液腺穿刺吸引細胞診における直接塗抹法と LBC-SurePath の比較
岩手医科大学附属病院病理診断科
○佐藤彩佳

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 1　11 月 16 日（土）　12：05〜12：55　第 2 会場（3F ホテルグランヴィア岡山 クリスタル）

座長：柳井広之（岡山大学病院病理診断科教授）

尿路上皮がんと免疫チェックポイント阻害剤〜バイオマーカーによる症例選択を目指して〜

臨床における尿路上皮がん薬物療法の実情と展望
山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座教授　松山豪泰

尿路上皮がんの治療戦略を考える―病理の視点から―
愛知医科大学愛知医科大学病院病理診断科教授　都築豊徳

共催：アストラゼネカ株式会社

ランチョンセミナー 2　11 月 16 日（土）　12：05〜12：55　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：秋山　太（医療法人社団正診会正診会クリニック）

乳がん免疫療法〜適切な患者さんを選択するために〜

PD-L1 陽性進行・再発トリプルネガティブ乳がんにおけるテセントリクの有効性と安全性
国立がん研究センター東病院先端医療科／乳腺・腫瘍内科,
国立がん研究センター希少がんセンター先端医療開発センター新薬臨床開発分野　内藤陽一

乳がんにおける PD-L1 検査の位置づけ

日本医科大学付属病院病理診断科臨床教授　坂谷貴司

共催：中外製薬株式会社／ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

ランチョンセミナー 3　11 月 16 日（土）　12：05～12：55　第 6 会場（2F 岡山コンベンションセンター レセプションホール）

座長：佐々木寛（医療法人沖縄徳洲会千葉徳洲会病院婦人科部長）

海を渡った医師たち，その意志と功績～顕微鏡の歴史に学び，画像解析国際化への礎を考える～

医療法人社団こうかん会日本鋼管病院病理診断科部長　長村義之

共催：ホロジックジャパン株式会社

ランチョンセミナー 4　11 月 16 日（土）　12：05～12：55　第 9 会場（4F 岡山県医師会館 401・402 会議室）

座長：廣島健三（千葉大学大学院医学研究院特任教授）

体腔液細胞診による中皮腫診断～救済法における留意事項～

日本医科大学多摩永山病院病理診断科・病理部技師長　片山博徳

体腔液細胞診による中皮腫診断～確定診断の実際～

株式会社 LSI メディエンス病理・細胞診センター所長　前田昭太郎

共催：独立行政法人環境再生保全機構

ランチョンセミナー 5　11 月 17 日（日）　12：10～13：00　第 2 会場（3F ホテルグランヴィア岡山 クリスタル）

座長：鹿股直樹（聖路加国際病院病理診断科）

乳がんサブタイプ分類と腫瘍浸潤リンパ球（TIL）

久留米大学医学部附属医療センター病理診断科　山口　倫

川崎医科大学乳腺甲状腺外科　紅林淳一

共催：ライカマイクロシステムズ株式会社

ランチョンセミナー 6　11 月 17 日（日）　12：10～13：00　第 4 会場（3F 岡山コンベンションセンター コンベンションホール）

座長：落合淳志（国立がん研究センター先端医療開発センターセンター長）

MSI-High 固形癌における臨床と病理の役割

ゲノム時代における婦人科腫瘍における精度管理の重要性

東京慈恵会医科大学病理学講座・同附属病院病院病理部教授　清川貴子

MSI-High を示す婦人科癌における Pembrolizumab の役割

東京慈恵会医科大学産婦人科学講座教授　岡本愛光

共催：MSD 株式会社／大鵬薬品工業株式会社

ランチョンセミナー 7　11 月 17 日（日）　12：10～13：00　第 5 会場（1F 岡山コンベンションセンター イベントホール）

座長：森井英一（大阪大学大学院医学系研究科病態病理学・病理診断科教授）

がんゲノム時代がやってきた。細胞診はどう変わる？

国立がん研究センター中央病院病理診断科医長　元井紀子

共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

ランチョンセミナー 8　11 月 17 日（日）　12：10〜13：00　第 6 会場（2F 岡山コンベンションセンター レセプションホール）

座長：竹内賢吾（公益財団法人がん研究会がん研究所病理部）

リンパ腫における CD30 免疫染色の意義

埼玉医科大学総合医療センター病理部　百瀬修二

共催：武田薬品工業株式会社

若手英語セッション

11 月 17 日（日）　10：10〜11：40　第 9 会場（1F ANA クラウンプラザホテル岡山 曲水）

座長：Steven G Silverberg（University of Maryland School of Medicine）

紀川純三（松江市立病院）

Young Investigator Presentation in English

YE-1　Fine-Needle Aspiration Cytology of Hürthle Cell Lesions in Thyroid：A Diagnostic Dilemma

Department of Pathology, Beijing Hospital

○ Shurong He

YE-2　Evaluation of the concordance in HPV type between self- and physician-collected samples using a PCR-based HPV DNA test

福井大学医学部産婦人科

○大沼利通, 黒川哲司, 山田しづ佳, 山本　真, 津吉秀昭, 品川明子, 知野陽子, 吉田好雄

YE-3　A case of rectal cancer mimicking mucinous carcinoma of uterine cervix

八戸市立市民病院臨床検査科病理

○松長夢子, 須藤安史, 奥沢悦子, 矢嶋信久

YE-4　Breast metastasis in a patient with cervical cancer

独立行政法人国立病院機構埼玉病院

○和田美智子, 中川博之, 北澤祥子, 高橋美央, 松田亜紀, 坂井健良, 岩佐尚美, 境　委美, 福武麻里絵, 藤岡陽子, 樋野牧子, 服部純尚, 倉橋　崇

YE-5　A case of primitive neuroectodermal tumor of the uterine corpus

亀田総合病院卒後研修センター[1], 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病理学[2]

○吉川　亮[1], 堀　　隆[1], 福岡順也[1,2]

YE-6　Morphological characteristics of bile/brush cytology and biopsy of extrahepatic bile duct

つがる西北五広域連合つがる総合病院総合病院病理検査室[1], 弘前大学大学院医学研究科病理生命科学講座[2], 弘前市立病院病理[3]

○野呂美鈴[1], 鳥谷部慎子[1], 村上遥子[1], 後藤慎太郎[2], 羽賀敏博[2], 諸橋聡子[3], 鬼島　宏[1,2]

YE-7　Evaluation of morphological dissimilarity in H&E images using machine-learning algorithm

九州大学大学院医学研究院保健学部門[1], 熊本大学発生医学研究所細胞医学[2], NIA/NIH, USA[3], がん研究会がん研究所[4]

○安田洋子[1,2], 徳永和明[2], 古賀友紹[2], Ilya G. Goldberg[3], 坂本智代美[2], 斉藤典子[2,4], 中尾光善[2]

YE-8 Preparation of the establishment of National Maternal and Child Health Center（NMCHC）pathology department

Department of Pathology, NMCHC, Cambodia[1], Bureau of International Health Cooperation, National Center for Global Health and Medicine[2], Department of Gynecology, NMCHC, Cambodia[3], Department of Molecular Pathology, Tokyo Medical and Dental University[4], Department of Pathology, Tama-Nagayama Hospital Nippon Medical School[5], Department of Pathology, School of laboratory Medicine, Nitobe Bunka College.[6], Department of Diagnostic Pathology, Kindai University Nara Hospital[7], Cancer institute Hospital of JFCR[8], Toda Central Medical Laboratory / National Defense Medical College[9]

○Chan Kong Huy[1], Yasuyo Matsumoto[2], Hang Sovanara[3], Krouch Rayounette[3], Hiroki Akaba[2], Kaori Ohara[2], Yurie Soejima[4], Hironori Katayama[5], Sadayuki Hiroi[6], Tomoko Wakasa[7], Kyoko Komatsu[8], Noriko Fujita[2], Toshiaki Kawai[9]

学生セッション

学生セッション 1 11 月 16 日（土） 13：34～13：58 ポスター会場（4F 岡山シティミュージアム 企画展示室）

座長：鬼島 宏（弘前大学大学院医学研究科病理生命科学講座）
布引 治（神戸常盤大学保健科学部医療検査学科）

ST-1 退色細胞診標本再染色の検討

倉敷芸術科学大学生命科学部生命医科学科 4 年生[1], 倉敷芸術科学大学生命科学部生命医科学科[2]

○岡田海斗[1], 有安 信[1], 高木翔士[2], 森 康浩[2], 佐藤正和[2], 三宅康之[2]

ST-2 リンパ節細胞診検体を用いた遺伝子診断の応用―固定液の検討―

岡山大学医学部保健学科検査技術科学専攻 4 年[1], 岡山大学大学院保健学研究科[2]

○藤田 梓[1], 藤田 梓[1], 錦織亜沙美[1], 金嶋初音[1], 宮宗愛理[2], 祇園由佳[2], 佐藤康晴[2]

ST-3 婦人科 LBC 検体を用いた PCR 法による HPV 検出の試み～HC 法との比較～

岡山大学医学部保健学科検査技術科学専攻 4 年[1], 西条中央病院臨床検査科[2], 岡山大学大学院保健学研究科[3]

○錦織亜沙美[1], 金嶋初音[1], 藤田 梓[1], 佐伯勇輔[2], 祇園由佳[3], 佐藤康晴[3]

学生セッション 2 11 月 16 日（土） 13：58～14：22 ポスター会場（4F 岡山シティミュージアム 企画展示室）

座長：稲山嘉明（横浜市立大学附属市民総合医療センター病理診断科）
矢野恵子（関西医療大学保健医療学部臨床検査学科）

ST-4 自然尿と膀胱洗浄尿の細胞像の比較

倉敷芸術科学大学生命科学部生命医科学科 4 年生[1], 倉敷芸術科学大学生命科学部生命医科学科[2]

○眞野絢香[1], 桑田恵美里[1], 高木翔士[2], 森 康浩[2], 佐藤正和[2], 三宅康之[2]

ST-5　小濾胞状を呈する甲状腺病変の細胞形態的測定による検討

倉敷芸術科学大学生命科学部生命医科学科 4 年生[1)], 倉敷芸術科学大学生命科学部生命医科学科[2)], 隈病院臨床検査科[3)]
○梶房雅史[1)], 秋元歩夢[1)], 高木翔士[2)], 森　康浩[2)], 樋口観世子[3)], 佐藤正和[2)], 三宅康之[2)], 廣川満良[3)]

ST-6　耳下腺分泌癌の 1 例

岡山大学医学部保健学科検査技術科学専攻 4 年[1)], 福山市民病院病理診断科[2)], がん研有明病院臨床病理センター[3)], 岡山大学大学院保健学研究科[4)]
○江草侑厘安[1)], 重西邦浩[2)], 秀坂　恵[2)], 竹内賢吾[3)], 佐藤康晴[4)]

イラスト・写真展

ひかりの広場

PI-1　1 ミリの 1/100 の大きさのミッキー発見！

群馬大学医学部附属病院病理部・病理診断科
○小野里香織

PI-2　あなたには何に見えますか？

群馬大学医学部附属病院病理部・病理診断科
○星川里美

PI-3　細胞の形はその性格を現わす

川崎医科大学病理学
○森谷卓也

PI-4　肺の中の戦い

公立阿伎留医療センター呼吸器外科[1)], 公立阿伎留医療センター病理部[2)]
○三浦弘之[1)], 涌井清隆[2)], 朝倉千尋[2)]

PI-5　ランゲルハンス細胞組織球症

独立行政法人国立病院機構九州がんセンター統括診療部臨床検査科
○藤本翔大

PI-6　腹水中に出現した chain-like arrangement が特異的な軟骨肉腫

刈谷豊田総合病院[1)], 修文大学看護学部[2)]
○野畑真奈美[1)], 中村清忠[1)], 米山亜紀子[1)], 伊藤　誠[1)], 越川　卓[2)]

PI-7　精上皮腫　組織捺印

慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニット
○山田　寛

PI-8　ハート型：幸せの腺管

川崎医科大学附属病院病院病理部
○福屋美奈子

PI-9　宝石の輝きの如く

近畿大学病院病理診断科[1)], 近畿大学病院総合医学教育研修センター[2)]
○筑後孝章[1,2)]

PI-10 後天性嚢胞随伴腎細胞癌の癌細胞とシュウ酸カルシウム結晶
綾部市立病院臨床検査科病理
○山口直則

PI-11 『核の溝』
川崎医科大学病理学
○古城裕加里, 森谷卓也

PI-12 臍帯の喜怒哀楽
川崎医科大学病理学
○佐貫史明, 森谷卓也

PI-13 細胞と生きる
慶應義塾大学医学部腫瘍センター
○柳田絵美衣

PI-14 Cells flow
倉敷成人病センター
○藤田　勝

PI-15 あなたのために
鳥取大学医学部附属病院病理部
○持田洋利

PI-16 細胞診で守る女性と子供の未来
鳥取大学医学部器官病理学
○野坂加苗